

第14回保険金不正請求防止事案担当者表彰式を開催

～ 13社48名を表彰 ～

一般社団法人 日本損害保険協会（会長：城田 宏明）では、「第14回保険金不正請求防止事案担当者表彰式」を10月15日（火）に損保会館で開催し、13社から48名（うち対面出席者は33名）の事案担当者を表彰しました。

当協会では保険金不正請求対策の一環として、2014年から、警察と連携を図り保険金不正請求防止に著しく貢献した損害保険会社の事案担当者を表彰しています。今年度は、昨年度に引き続き対面での開催となり、表彰対象となった全国の事案担当者が一堂に会しました。

開会にあたって損害サービス委員会委員長 佐藤 満（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員）からの挨拶では、事案担当者を労うとともに、「昨今の業界問題における信頼回復のため、積極的に警察との連携を図り、業界が一致団結して不正請求に毅然として立ち向かっていくことが保険業界に課せられた使命である。今回の成功事例も生かしつつ、更なる取組みに励んでいただきたい。」と呼びかけました。

また、来賓としてご出席いただいた警察庁交通局交通指導課 磯 丈男 課長からの挨拶では、「不正請求事案に対して、日頃より保険会社から事件の検挙につながる情報を提供いただき、感謝申し上げます。今後も巧妙化・複雑化する不正請求の摘発に向け、引き続き協力願いたい。」との言葉をいただきました。

事案担当者の代表挨拶では、受賞の感想や事案に携わったメンバー、各関係者への感謝などが述べられました。

閉会に際し、日本損害保険協会常務理事 宇田川 智弘からの挨拶では、「今後とも損保協会として、保険金不正請求は絶対に許さない、という毅然たる姿勢のもと、保険金不正請求防止への各種取組みを進めていく所存であるため、引き続きご協力いただきたい。」と呼びかけました。

業界として保険金不正請求対策の取組みを推進することの重要性を再確認しました。



<表彰者および表彰式出席者>